



Junior Chamber International Tsuruoka

社団法人 鶴岡青年会議所

2012

夏号

広報誌

凌雲の志

～本質を見抜くJAYCEEが明日の地域を照らす～

4月例会 新入会員歓迎会



熱い魂！みなぎる情熱！
共に感じてみよう！

本年度の思い

社団法人鶴岡青年会議所 46代理事長の渡部芳幸と申します

日頃より青年会議所の活動にご理解、ご協力を頂き感謝申し上げます

本年のスローガンを「凌雲の志 ～本質を見抜くJAYCEEが明日の地域を照らす～」と掲げ半年がすぎました。本年も継続事業であります「わんぱく相撲鶴岡場所」を初め、防災事業、自己啓発事業などを展開しております。その中でも今年は会員拡大活動を幅広く行い、他LOMで拡大数が伸び悩む中、我々鶴岡青年会議所は現段階で24名の仮会員を承認しております。7月には理事会の承認を経て新入会員を向かい入れる予定でございます。これも先輩諸兄のお力添えが在ってこそその結果だと考えております。

また、現在は8月10日に控えております、第22回赤川花火大会に向けてメンバー一同奔走しているところでございます。それとあわせまして昨年に引き続き、希望の光プロジェクト2012を同日開催する予定でございます。本年は相馬市、南相馬市の子供達400名を赤川花火大会に招待し、鶴岡の観光地を巡る予定でございます。

子供達の心のケア、笑顔と勇気を届けたい。その一心で事業に邁進してまいります。

鶴岡青年会議所メンバー一人一人が高い志「凌雲の志」を持って明るい豊かな社会を目指し率先して行動して行きます。

どうぞよろしくお願いいたします。



社団法人 鶴岡青年会議所
2012年度 第46代
理事長 渡部 芳幸

現在までの公益法人取得状況

社団法人鶴岡青年会議所2012年度LOM運営グループ専務理事を仰せつかっております、今間智寛と申します。どうぞ宜しくお願い致します。

さて、本年度鶴岡青年会議所では公益法人格移行に向けて申請作業を行っております。移行するにあたって様々な問題がありますが、現在山形県の担当者の方と協議を行いながら作業を行っております。公益法人を取得するに当たっては公益的な事業を全体の予算の50%以上実施しなければいけません。本会議所ではこれまでも公益性のある事業を毎年50%以上行ってきましたが、より公益性のある団体を目指すために、全事業と予算の見直しを行いました。昨年は大震災の影響で予定していた事業が実施出来なかったり、大幅に修正を余儀なくされたりと、移行申請することが出来ませんでした。本年は公益法人格を取得できるように頑張っておりますので、皆様どうぞ宜しくお願い致します。



LOM運営グループ担当 専務理事 今間智寛

例会報告

1月例会 新年祝賀会

開催日 2012年1月18日(水) 19:20~21:00
会場 東京第一ホテル鶴岡 鳳凰の間
担当 JC・地域連携実践委員会
出席者数 120名

担当委員長コメント

本事業は、特に2012年度社団法人鶴岡青年会議所の事業展開、及び理事長の所信、理念を賛同して頂くことを目的としたものでした。また、JC関係者との連携をより親密なものとし、今後の青年会議所活動の成功へと繋がるような交流を目的としたものでした。

もっと、歓談時間が長くて良かったと思いますが、市長の祝辞の内容を初め山形新聞や庄内日報の掲載内容から判断すると盛況の内に閉幕したのではないかと思います。私自身はじめての経験で至らぬ点もございましたが、何事もなく無事に閉幕してホッとしております。これを糧にJC活動をがんばります。ありがとうございました。

JC・地域連携実践委員会 委員長 松田 稔



2月例会 第一エリア山形ブロック会長公式訪問

開催日 2012年2月28日(火)18:30~20:30
会場 庄内町文化創造館 響ホール 小ホール
担当 会務セクレタリーグループ
出席者数 正会員42名

担当委員長コメント

今年は(社)庄内中央青年会議所主幹の為、余目の地での開催でしたが多くのメンバーにご参加頂き誠に有難うございました。

経験年数の短いメンバーや出席した事のないメンバーは、この2月例会の目的が分かったかと思います。参加してみても初めて分かる事があります。ただ今回、参加出来なかったメンバーにも内容や経験し感じた事などを伝達して頂き(社)鶴岡青年会議所メンバー全員で「凌雲の志」の基、志高く積極的に行動していきましょう。有難うございました。

会務セクレタリーグループ 会務理事 吉宮 哲史



3月例会 防災から学ぶ地域コミュニティの創造 ~ここからスタート!地域の志~

日時 2012年3月15日(木)19:00~21:00
会場 鶴岡市総合保健福祉センター にこ♡ふる
担当 魅力ある地域研究委員会
出席者数 一般36名 正会員55名 新入会員予定者7名 合計98名

担当委員長コメント

市社協さまからの御後援、また講師の千川原様からの多大なる御支援、そしてLOMメンバーの協力があってこそこの例会であったと感じています。外部も含めた組織全体が、よき運動体として機能していると思えました。

ですが、事業全体を見渡すと、参加者の事業への入り込みやすさや、取り組みやすさの点において、改善の余地はまだありました。しかしそれは、より市民の意識変革に迫った事業づくりが可能だという事だと思えます。今後は6月に行う予定の防災事業の第2弾を見据え、委員会メンバー共々邁進して参ります。よろしくお願ひします。

魅力ある地域研究委員会 委員長 秋山 滋



例会報告

4月例会 新入会員歓迎会

日時 2012年4月15日(木)19:00~21:00
会場 竹屋ホテル
担当 人間力向上委員会
出席者数 正会員62名 新入会員予定者21名

担当委員長コメント

このたびはお忙しい中、また、湯野浜という遠い地であるにも関わらず4月例会にご参加頂きまことに有難うございます。しかしながら笑い声の絶えない、新入会員との親睦を深めるに十分な雰囲気を作ることに言わせていただければ、恐縮ながら達成できたのではないかと考えております。

また、新入会員全参加、現役メンバーの80%を超える参加率と皆様のご支援を頂き、盛り上がりのある事業となりましたことを厚く御礼申し上げます。



人間力向上委員会 委員長 木村 修平

5月例会 わんぱく相撲

日時 2012年5月19日(土)11:30~18:00
会場 小真木原運動公園相撲場
担当 OMOIYARIの心育成委員会
出席者数 児童 297名・保護者、学校関係等 約600名・相撲連盟 約30名・正会員55名 新入会員予定者19名

担当委員長コメント

日本の国技、『相撲』を通し、子どもたちの心身の鍛錬・健康増進に努め、礼儀作法や相手を思いやる心など、自らの体験から学ぶ事業となりました。また、保護者や関係団体などとの協力により、子どもたちが成長していく環境を育むとともに、事業を通したそれぞれの体験により、OMOIYARIの心を伝える事が出来たと感じています。

事業に向けての準備、また当日、朝からの準備・片付けなど、多くの関係者・メンバーの皆様からのご協力をいただき、無事に終了することが出来ました。また、以前からの課題だった大会終了時間も、大幅な短縮となり、皆さんのご協力に、重ねて感謝申し上げます。



OMOIYARIの心育成委員会 委員長 石井 清則

6月例会 自己啓発セミナー

日時 2012年6月14日(木)17:00~19:45
会場 いろり火の里 なの花ホール
担当 人間力向上委員会
出席者数 正会員52名 新入会員予定者15名
一般参加者420名

担当委員長コメント

講師にクロフネカンパニー代表中村文昭氏を招き、「出会いこそ宝である、人のご縁ででっかく生きる」という講演テーマで120分超にわたりご講演をいただきました。

ご自分の師匠との出会いの中から学んだ話、仕事を通じて出会ったお客さんとの話、自分の社員の話、自分が取り組むプロジェクトの話など、ご自身の経験を元に笑いや涙を交えた大変心に残るお話を頂き、その後、鶴岡青年会議所より微力ではありますが、参加者の皆さんにメッセージを伝え会を閉じました

開催日前から多くの反響・問い合わせを受け、また閉会後もイベントのページの賑わいは1週間近くさめることがありませんでした。CDや書籍についての問い合わせもあり、こんなに事業のアフターフォローが続くことは今までなかったのですが、自分自身感謝の気持ちを込めながら対応に当たらせていただきました。これも一つのご縁で、このご縁が今後も続き、この地域を変えていく仲間となってくれたらいいのですが、ここから先は次回の例会の方につなげていただければと思います。



人間力向上委員会 委員長 木村 修平

新事業説明

United Children (UC) ユナイテッド・チルドレン

未来のリーダー育成
地域の宝
育成委員会

鶴岡ユナイテッドチルドレン 発足・活動支援事業

TSURUOKA
UNITED CHILDREN



募集ポスター



▲ミーティングの様子

課題事業 + 研修事業 + 自由課題

▲独自カリキュラムの柱

鶴岡UCの発足に向けて。

地域の宝育成委員会では地域の高校生を対象に未来のリーダーを育成するため「ユナイテッドチルドレン」の発足・活動支援事業に取り組んでいます。

募集に対して6名の高校生が集まり、第1回、第2回とミーティングを重ね、今年の活動計画について話し合いました。まだ慣れない中、生徒が皆発言する活発なミーティングとなりました。

発足に向け、7月の会員大会に参加して県内UC（山形UC・もがみUC）との交流、また赤川花火大会への企画参加などを予定しています。

鶴岡独自のカリキュラムでより実践的な社会勉強の場へ。

鶴岡UCは鶴岡青年会議所がアドバイザーであることを活かして、他のUCではあまり見られない独自のカリキュラムで活動します。

赤川花火大会への企画参加などの「課題事業」と市議会見学や市長対談などの「研修事業」また自分たちで考え企画実行する「自由課題」の3つを柱としてより実践的な社会勉強の場を生み出します。

地域を元気にする団体、
次世代へ受け継がれる団体へ。
鶴岡UCにご期待ください。

設立ストーリー

2001年、静岡県浜松市で、冬の街を彩るフェスティバルが行われました。

そこで、4人の中学2年生が、運営スタッフとして、模擬店の運営など、フェスティバルの一部を大人たちから完全に任せられます。

彼らは自分たちの力で一生懸命フェスティバルを創っていきました。

そしてそこで出会った、お客さんの笑顔、賑わいだまち、自分たちの連帯感と達成感のなかで、熱い思いが込み上げてきたのです。

「俺たちは、学校じゃ学べないようなことを学ぶことができた。」

「小さな一歩だけど、俺たちにも、社会を変えることができたんだ。」

「そもそも、未来は、俺たちが俺たちの手で創っていくべきものなんだ。」

「そのために、まず自分たちが素晴らしい未来を作り出せるようになりたい。」

そんなとき、彼らはフェスティバル運営の経験を思い出し、今自分たちができることから真剣に社会に挑戦することで、自分が大きく成長できることに気づきました。

そしてそのような中高生からの社会への挑戦を続け、同じ思いをもつ仲間を世界中に広げるために、United Childrenは設立されました

UNITED CHILDRENとは!?

United Children (UC) は、全国各地で中高生が自主的に設立している団体で、地域を舞台にどんな挑戦をしていくかを自分たちで考え、自分たちで創り上げる「UCプロジェクト」に取り組んでいます。仲間たちとこのUCプロジェクトに挑戦する中で、友情をはぐくみ、社会での貴重な経験を得て、「未来の日本・世界を動かす人」へと成長していきます。UCプロジェクトで一番大切なことは、企画・準備・実行すべてを中高生だけでやっていることです!

<http://unitedchildren.jp/>



▲UNITED CHILDRENの理念



地域の宝育成委員会 委員長 佐藤 天哉

9月例会 OMOIYARIの心育成事業

庄内藩主も激励していた磯釣りは、庄内の磯で伝統的に楽しまれてきました。その釣り文化からは「庄内竿」という独自の文化が生まれ、魚拓は庄内藩が発祥とされるなど、各地へと影響を与え、広く受け継がれてきました。

時代は移り変わり、道具や移動手段は変わっても、釣り人の後ろ姿は庄内藩士の姿と重なって見えるだけでなく、親子・家族で釣りにふれあう姿を見ると、自然教育や命の教育に適した環境と考えます。

そんな磯釣りという体験を通し、地域の文化を学び郷土愛を育むとともに、磯という足場の悪い環境の中で親子が同じ目的で行動する事により、OMOIYARIの心を学び、絆を深めてもらいたいと考えています。皆様の参加を、お待ちしております。



OMOIYARIの心育成委員会 委員長 石井 清則

花火は、古くから人々の心を癒し愛され、その美しさは日本の伝統芸術として多くの方々に感動と夢、元気を与えてくれています。

ここ鶴岡で開催される「赤川花火大会」は、私たちの先輩諸兄が「子供たちに笑顔を」という想いで始まり、出羽庄内の広域的事業として地域の活性化を目指し毎年開催されてきました。現在では全国でも有数の花火大会と称されるまでになり、単に市民憩いの納涼花火ではなく、地域住民が誇れる「赤川花火大会」となっております。現在の地位を築けた裏には、多くの参加団体で組織する実行委員会の中において、先輩諸兄のONLY ONEの大会、感動を生む大会が地域を盛り上げるといふ熱い青年会議所としての想いが紡がれて、繋ぐ人を育ててきたことにほかなりません。

この赤川花火大会を更に魅力ある感動日本一の花火大会にするために、諸先輩方から受け継がれてきた強い思いをLOMメンバー継承できるように残すところ後1ヶ月死に物狂いで頑張ります。

日本一赤川花火委員会 委員長 丸山 浩孝



第22回赤川花火大会 希望の光プロジェクト2012

HOPE 8.10 AKAGAWA
希望の光プロジェクト2012「再会」

昨年、宮城県のこどもたちに勇気と笑顔をもたらした「希望の光プロジェクト」。今年は「再会」をテーマにして8月10日（金）～11日（土）の二日間、赤川花火大会と鶴岡観光に福島県のこどもたちを中心に被災者の皆様を400名（予定）ご招待します。

現在鶴岡市・三川町には約400名の避難者が居住し、そのうちの300名は福島県出身の避難者です。震災による放射能汚染警戒区域が徐々に解除されながらも、いまだ不安な状況に帰郷できずにいます。

私たちは「希望の光プロジェクト2012」を通じて、この地に避難されている方々にボランティアとして参画していただき、故郷のこどもたちを受け入れる「再会」の場を創出することが、避難者の方々への「心の支援」の一助と考えます。またこどもたちを中心とした被災者の方々には、感動日本一の「赤川花火大会」と庄内の豊かな自然や歴史・文化に触れ、この地域の人々との温かい心の交流により、明るい元気な笑顔を取り戻し、更なる復興への原動力に繋がること信じています。

復興に勇気、子供たち笑顔、そして東北に未来を。



赤川花火大会、羽黒山の石段登りに加えて、加茂水族館・庄内メロンの食味体験など、鶴岡を楽しむ企画を進化させて準備しています。



今年もやります！願いを込めた希望の光玉

地域の宝育成委員会 委員長 佐藤 天哉

出向者からのコメント

公益社団法人日本青年会議所

国家グループ「凜然とした誇りある国家」創造会議

委員 中村 忠之

本年度、公益社団法人日本青年会議所 国家グループ「凜然とした誇りある国家」創造会議へ出向している中村です。本会議体は、国家グループに於いて筆頭会議体に位置づけられていて井川会頭の思い入れが大変強い会議体でもあります。活動内容としては、「凜然とした誇りある国家」創造に向けての調査・研究と「凜然とした誇りある国家」創造に向けての国民意識の喚起です。

確かな国家観と自国を誇れる歴史観を本会議体で勉強していくと、「知らない」という事が、自分が如何に愚かな事なのか毎回の会議で痛感させられています。本会議体は、「変わらないために変わる」つよい国家のプリンシプルを創造します。サマーコンファレンスメインフォーラムで皆様をお待ちしております。どうぞよろしくお願い致します。



公益社団法人日本青年会議所 東北地区協議会

総務委員会 幹事 宅井 康洋

公益社団法人日本青年会議所東北地区協議会総務委員会に出向させて頂いております。その中で幹事を仰せつかっております。役割としては毎月の役委員会の出欠確認、設営及び議事録の作成です。設営では各地域の青年会議所様から御協力頂き毎回ありがたく思います。

とても地味な役割ですが、毎月各委員会及び正副役員会、これらを自分の目で見ると大変貴重な会に参加できるのがありがたく思います。

普段LOMで経験する事とは違った気付きを得ることができます。

いまさらではありますが基本に則った会議の進め方、行事の進め方を目の当たりにしてLOMでも、まして私自身でもこのような事業の進め方をしたいと思ひますし、自分の会社にも活用したいと思ひました。

まだこれからもサマコンなどありますが、十分満足いただけるような活動をしたいと思ひます。



公益社団法人日本青年会議所 東北地区協議会 山形ブロック協議会

アカデミー委員会 副委員長 第3塾 塾長 齋藤 亮一

まずは、アカデミー委員会に輩出して頂きました(社)鶴岡青年会議所に御礼と山形ブロック役員の皆様に感謝の意を表します。

開校式に始まったアカデミー委員会。第3塾の塾長として渡辺ブロック委員長のフォローと塾生へのサポートを心がけようとスタートを切りました。

第1回アカデミー委員会の「家訓プログラム」では、自分のルーツや、家訓・社訓の大切さ、家族やスタッフの支えが、今の私がJC活動を行える糧であることを、再確認できました。

第2回アカデミー委員会には参加できなかったものの、矢部先輩(元地区協議会会長)の澆刺とした熱いJCスピリッツが塾生達に注入されていることを、後の塾生達の感想を聞いて知ることができました。

私が担当する10月のプログラムについて塾会を開いた時には、塾生達と有意義な時間を共有でき、活発な意見が塾生達からあげられ、自分たちで事業を形作っていく姿勢が見えたように思えます。

第3回アカデミー委員会は酒田祭りに参加し、祭りを通じての街づくりを学び、自分達の地域に何かを発信する手掛かりを見出すきっかけ作りになったと考えます。

閉校式までの残り2回のプログラムに向け益々の努力と、塾生への先達としての役割を果たしていきたいと考えておりますので、ご協力の程宜しくお願い申し上げます。



その他活動報告

- * 社団法人鶴岡青年会議所 2012年度 第93回定時総会 2012年1月18日(水)
- * 2012年度京都会議 2012年1月20日(金)～1月22日(日)
- * 公益社団法人 日本青年会議所 東北地区 山形ブロック協議会 第1回会員会議所会議 並びに 新春交歓会 2012年1月28日(土)
- * 2012年度 アカデミー委員会開校式及び第1回アカデミー塾開催 2012年1月28日(土)
- * 2月事業 対内向け自己啓発セミナー 座禅 ～自己認識から始まる自己啓発 2012年2月26日(日)
- * 復興創造フォーラム2012 ～東日本大震災復興へ新たなる一步を～ 2012年3月10日(土)～3月11日(日)
- * 第24回日本海夕陽ラインシンポジウムin遊佐 ～日沿道鳥海山タウンミーティング～ 3月17日(土)
- * ふるさとOMOIYARIプロジェクト2012 ～最上川クリーン大作戦「やまがた」を結ぶOMOIYARIの心～ 2012年6月3日(日)6:30～9:00
- * 6月事業 「あなたとはじめる避難所シミュレーション」 2012年6月16日 18:00～20:30



5. 25 天神祭パレード 第22回赤川花火大会PR



6. 3 ふるさとOMOIYARIプロジェクト2012 赤川河川清掃

次回事業・例会案内

- | | |
|---------------------------|------------------------------|
| 7月事業 認認証伝達式 7月25日(水) | 7月例会 山形ブロック会員大会 新庄大会 7月8日(日) |
| 8月事業 災害支援事業 8月10日(金) | 8月例会 第22回赤川花火大会 8月10日(金) |
| 9月事業 LOM組織進化する事業 9月13日(木) | 9月例会 OMOIYARIの心育成事業 9月16日(日) |
| 10月事業 自己啓発セミナー③ 10月18日(木) | 10月例会 地域社会活性化事業 10月20日(土) |
| | 11月例会 青少年アカデミー事業 11月18日(日) |
| 12月事業 クリスマス家族会 12月2日(日) | 12月例会 卒業式 12月8日(土) |



認証番号 第343号

社団法人鶴岡青年会議所

〒997-0802 山形県鶴岡市伊勢原町8-5 TEL:0235-24-0377 FAX:0235-22-5090

詳しくはホームページで <http://www.tsuruoka-jc.info>

*1 JCIマーク・・・世界の青年会議所が使用する共通のマーク。JCIはJunior Chamber International(国際青年会議所)の略
右側の紋章には国連のマークが配されており、国際青年会議所は民間組織の中で唯一国連マークの使用を許されている団体